

(2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野(4) 青少年育成

施策の方針① 青少年の育成・支援

< 目標とすべきまちの姿 >

青少年が夢や希望をもってさまざまなことに挑戦し、多くの人の支えや関わりの中で、地域を支えられるような大人に成長するための環境が整備されています。

青少年会館を拠点として定期的に講座が開催され、そのなかでさまざまな世代の交流が活発に行われています。

1 事業評価結果一覧表

こどもみらい部

| 評価対象事業名 | | 決算値 (千円) | 総事業費 (千円) | 26年度 職員数 (人) | 今後の方向性 | |
|---------|-------------|-------------|--------------|--------------------|--------|------|
| 整理番号 | 事業名 | | | | 事業内容 | 予算規模 |
| こども-23 | 育成事業 | 5,501 | 17,438 | 1.5 | a | B |
| こども-24 | 青少年会館管理運営事業 | 33,014 | 49,725 | 2.1 | a | B |

2 平成26年度末の目標

こどもみらい部

現行の子ども・若者育成プランが平成27年度までが計画期間であることから、平成28年度以降の次期プランの作成について検討を進めていく。また、プランの中で特に重要な取組として「青少年の居場所づくり」を掲げていることから、青少年会館がさらに有効な青少年の居場所となるよう引き続き検討を進めていく。

3 平成26年度の取組の評価

こどもみらい部

| | | | |
|-----|------------------------------------|------|------------------------------|
| 効率性 | 計画全体の推進に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか | ■ 適切 | <input type="checkbox"/> 要改善 |
| 妥当性 | 計画全体の推進に向け、妥当(適切)な取組であったか | ■ 適切 | <input type="checkbox"/> 要改善 |
| 有効性 | 計画全体の推進に向け、適切な成果が得られていたか | ■ 適切 | <input type="checkbox"/> 要改善 |
| 公平性 | 計画全体の推進に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか | ■ 適切 | <input type="checkbox"/> 要改善 |

子ども・若者育成プランの特に重要な取組である「支援体制の充実」「子ども・若者による社会参画の推進」について具体的な取組について検討を進めるとともに、青少年会館を広く周知するため、鎌倉青少年会館フェスティバルを引き続き開催するとともに、玉縄青少年会館においても、玉縄まつりに参加した。

4 今後の方向性

こどもみらい部

・青少年の育成事業については、今後も青少年育成団体等との連携を図る必要があることから、平成27年度は、そのきっかけ作りとして、鎌倉青少年会館フェスティバルに4団体(青少年指導員連絡協議会・青少年協会・てらこや・鎌倉市ジュニアリーダーズクラブ)が参加し、今後の連携活動へと繋げていく。
・青少年会館事業については、今後も他市の青少年が参加しやすい講座を参考にイベントを工夫していく。

5 平成27年度末の目標

こどもみらい部

青少年の健全育成を図るため、青少年育成団体等が連携及び協力した体制づくりの構築を図り、新たな青少年の居場所となるよう努めていく。また、子ども・若者育成プランの策定の中でも重要な取組である「支援体制の充実」を核とし、市長に答申する。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・青少年指導員連絡協議会との協働事業が行われている。地区に密着した青少年指導員との連携は、地域青少年の育成に重要である。
- ・子ども、若者育成プランを策定し、青少年の居場所づくりをすすめている。

2 課題・提言

- ・青少年会館が青少年の居場所であるように、講座の充実や文化団体の利用促進など地道な努力を続けて欲しい。
- ・青少年の育成プランをもとに事業をすすめていることを市民はあまり知っていない。市民への広報活動を工夫されたい。
- ・市民等との協働をすすめ、青少年会館の活用を図るべきである。
- ・中高生の地域での活動が少ない。
- ・ボランティア、地域コミュニティの参加を考える必要がある。